

公益財団法人 仁科記念財団

令和4年度（2022年度）事業計画書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第4条に掲げられている通り、故仁科芳雄博士が開拓した原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成です。

令和4年度（2022年度）は、以下の公益目的事業を行います。

（1）仁科記念賞、仁科アジア賞の授与

仁科記念賞は、財団が創立した1955年に第1回が授与されて以来の長い伝統をもち、原子物理学の分野では最も評価の高い賞としてよく知られています。2022年度（第68回）も例年通り、2022年6月1日から8月31日の3ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、応用物理学会誌に仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募します。選考は仁科記念賞規程に則り選考委員会で行い、受賞者には、賞状、賞牌と1件当たり60万円の副賞を授けます。授賞件数は、3件以内とし、選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に発表するとともに、授賞理由を当財団ホームページとアジア太平洋物理学会連合（Association of Asia Pacific Physical Societies: AAPPS）のBulletin上に公表します。本年度の授賞式は、仁科芳雄博士の誕生日の12月6日（火）に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で執り行います。

仁科記念財団は、将来性豊かなアジアの若手研究者を鼓舞激励するため、2012年度に仁科アジア賞（Nishina Asia Award）を創設しました。仁科アジア賞は、アジアに研究基盤において極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後15年以内）を毎年1名選考して、賞状と賞牌および賞金40万円を仁科記念賞授賞式の場で授与するというものです。2022年（第10回）も例年通り、2022年1月1日から3月31日の3ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を公表するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募しています。選考はNishina Asia Award規程に則り当該選考委員会で行い、選考結果は理事長の承認を得て本年9月初旬には受賞者に通知します。また、すみやかに当財団ホームページとAAPPSのBulletin上に選考結果を公表します。

（2）仁科記念講演会の開催

仁科記念講演会は、社会に原子物理学およびその応用の真髓を知っていただくため、1955年以来毎年、一般の参加を得て開催されてきています。本年度は、第68回の定例

講演会を開催します。

(3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営

「仁科記念室」に保存されていた資料・物品の理化学研究所への移管が昨年度完了したことを踏まえ、それらの史料の整理を理研史料室と共同で行うとともに当財団のホームページの「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めます。

(4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念財団案内、仁科記念講演会の講演録や講演録画とともに、当財団がこれまで冊子体として刊行してきたものを全て電子化してホームページの「出版および史料研究調査」に順次公開します。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

本年度も、仁科アジア賞受賞者を、授賞式の前後約1週間、わが国研究者との研究交流のため招聘します。なお本年度は、コロナ禍のために招聘できなかった、2020年度と2021年度の受賞者2名も招聘します。